

令和5年8月1日

立教186年

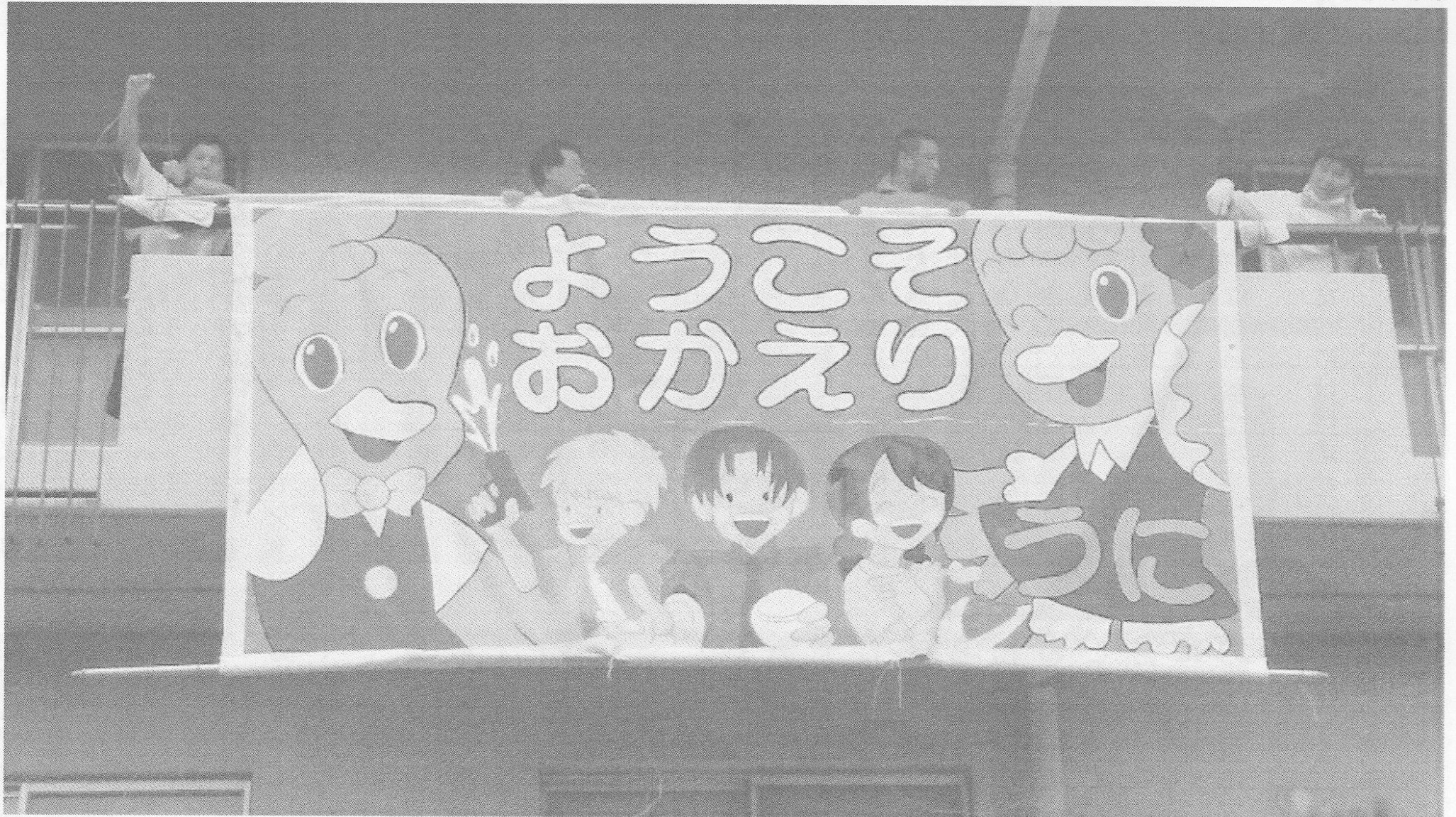
8月号
第611号



発行所

天理教宇仁大教会
〒677-0015 西脇市西脇770-4
電話 0795(22)4066番
FAX 0795(22)4072番
unigrandchurch@yahoo.co.jp

大教会創立百三十周年記念大会 10月29日



4年ぶりのこどもおちばがえりに向け詰所の準備も急ピッチで進められる
(婦人会・少年会・鍛冶屋分教会・有志のみなさん) 7月9日

散歩道

「はじめまして」「この一秒ほどの言葉に、一生のときめきを感じることもある。「ありがとう」「この一秒ほどの言葉に、人のやさしさを知らることがある。「がんばって」「この一秒ほどの言葉に、勇気が出ることがある。「おめでと」「この一秒ほどの言葉に、幸せにあふれることがある。「ごめんなさい」「この一秒ほどの言葉に、人の弱さを見ることがある。「さようなら」「この一秒ほどの言葉に、一生の別れになるときがある。秒に喜び、一秒に泣く。生懸命、秒。▲これは、絵本作家で漫画家の小泉吉宏氏の「一秒の言葉」という詩です。ずいぶん前、セイコーのCMで有名になりました。▲真実の言葉はいつも短い。言葉は飾るほど、心になる。言葉は語るほど、思いとはどこか形を変えてしまう。混じりけのないシンプルな言葉にこそ、人間の本质が宿るのかもしれない。▲言葉は生き物。口さきのついしょばかりはいらんもの。心のまこと月日みている
(十・八)

一 理 塚

回覧板に「盆踊り」の案内が入っていました。

近辺の村々では四年ぶりの開催で、会場設営や運営の方法を知る人が少なくなり、準備が大変なようです。

お盆（盂蘭盆会）というのは仏教の習いで、縁者が集まって、前年亡くなった方や先祖のたましいを家にお呼びし、御礼やねぎらいの言葉を伝え、踊りで慰めようとするのですね。

わたしは、教会のみたままつり（慰霊祭）は 月と九月に決まっていると思っていました。八月に会長さんに来てもらい、祭文をあげてもらう家庭も多いようです。

* * *
このたびのはらみているをうちなるわ

なんとをもふてまちているやら
こればかり人なみやとハをもうなよ
なんでも月日あるいをもわく

このもとハ六ねんいぜんに三月の十五日よりむかいとりたで

それからはいま、て月日しいかりと
だきしめていたはやくみせたい

それしらすうちななるものハなにも
かも
せかいなみなるよふにをもふて

おふでさき第七号に登場する
65番からのお歌です。

このお歌から、人間にはたましいがあり、死んだときにはそのたましいは親神様の御懐にしっかりと抱かれており、匂が来て、新しい衣（身体）を借りて生まれかわってくるのだと信じることができると思います。

誰かのお世話になりっぱなしで死んでいったとしたら、今度生まれかわってきた時は、その借りを返さねばならないたましいを持った人達の間生まれくる、とは先人の言葉です。

親が子となり、子が親となって生まれてきて、前生の借りを返し合う。

また上司と部下や隣人のように、好きでも嫌でも、一生付き合わなければならなくなるひとたち。

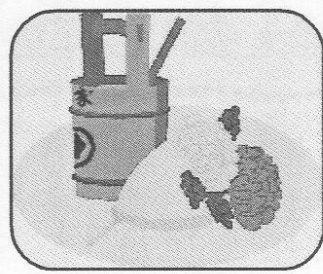
それは私たちには見えない、自分の前生の行いや人間関係を、親神様が見せてくださっている

姿なのではありませんか。

人を喜ばせて尽くしただけ、
尽くされる運命に、借りがあれば返さなければならぬ運命に。

* * *
今年のお盆は、久しぶりに大勢集まって、亡

くなった方の前で、生前賜った恩の話をいっぱいいいたしましよ。



9月「にをいがけ
強調の月」に向けて

毎年9月は、にをいがけ強調の月と位置づけられ、本部の布教部長であり、大教会の世話人先生でもある松村登美和先生は、この9月の動きが年祭活動での成人の試金石になると仰っておられます。試金石とは、「ある物事の価値、人物の力量を見きわめる試験になるような物事」とあります。すなわち、この9月のにをいがけ強調月間をいかに通るかが、今後の年祭活動の力量や質に大きく関係するだろうという事です。

そこで、本部布教部は月末の全教一斉にをいがけデーだけに力を入れるのではなく、9月は

一ヶ月、にをいがけの実動に集中する月として、直属もそれに相応しい実動計画を立てて、部内教会、ようぼく・信者が丸となって、ひろめ 条の御用に奔走してもらいたいとのことです。

大教会といたしましては、毎月行なっております15日の布教実動と、24日祭典後の神名流しにいつも以上の参加者をお願いすると共に、9月の一月間は、各教会が設定されている布教日における布教実動と、それに合わせて布教日が設定されていない日には、青年会や婦人会、女子青年などの各会に布教実動を行なって頂き、宇仁大教会としては9月のひと月は毎日を布教日と定め、宇仁の理に繋がるようぼくが毎日どこかで教祖のお供に歩かせて頂いている。そんな一ヶ月にしたいと思っております。また、大教会全体として1ヶ月で1万枚のリーフレットの配布を目標に定めました。皆様教会でそれぞれ枚数を心定めして頂き、会長様を芯に教会ご家族、信者さん一手一つとなつて親の御教えを世界に人々に心を込めて伝えて頂きたいと思っております。



◎月例布教実動 布教部

『教祖のお供をさせて頂く日』

毎月15日 午後1時30分 大教会神殿集合
布教実動（戸別訪問）・ふりかえり

『親神様の神名を世界へ流す日』

毎月24日 午後1時30分頃 大教会神殿集合
神名流し（大教会周辺）



たすけの旬・成人の旬

御教えを学び、おたすけの実践と心の成人に生かす

おかえり講話

『おつとめを身近に』

～宇仁大教会創立130周年記念大会に向けて～

日 時 8月26日（土）午後1時30分開始

場 所 宇仁詰所4階 大広間

講 師 深谷 太清先生

本部准尉員 やまとよぶき分教会長

布教推進講話

『空を楽しむ』

日 時 9月24日（日）大教会月次祭終了後

場 所 大教会神殿

講 師 山本 達則先生

大参分教会長 布教の家大阪寮副寮長

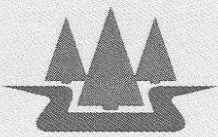
◎道延分教会会場

布教日 6月25日（日）

布教内容 ポスティング

所感 日程調整が難しく少人数
ではあったが午後4時からお願
い勤め、地元と他集落の2班に
分けて時報特別号、チラシを各
戸配布させて頂いた。日中を避
けて夕方に行なったので畑仕事
に出ておられる方も多く手渡し
ができて良かったという感想も
あった。今後も神名流しと共に
続けていきたい。

『教祖と歩む三年千日』
教会布教実働報告



さんさいの里キャンプ参加者募集中！

少年会 宇仁団

この夏宇仁団では四年ぶりにさんさいの里キャンプを実施します。
対象は小学4年生以上の教会布教所子弟（孫も含む）で、
小学3年生以下の少年会員は育成会員同伴でご参加頂けます。
宇仁の仲間と一緒にクワフトやゲーム、キャンプファイヤーなど
楽しい時間を過ごそう！



◇ 日 時：8月22日（火）大教会 午前8時集合 8時30分出発
～23日（水） 午後5時 大教会 解散予定

◇ 定 員：20名 ※高校生以上のスタッフも募集中

◇ 参加費：2000円

◇ お問い合わせ・申し込みは

小野町分教会 原田信一 団長 まで

TEL 0794-62-4612 携帯090-3616-3271

母親講座

日にち：令和5年9月9日(土)
時間：受付9時半～10時開始
(12時頃終了予定)

場所：宇仁大教会153号室
参加御供：二百円

内容：『先輩ママの心明るくなるお話♡とリラッククス呼吸法♪』

お話：『じんな時もいそいそと！』
天理教御空分教会

会長婦人 旭 和世さん
※できればズボンの方が

呼吸法がやりやすいですよ
申込締切：令和5年8月31日
所属の教会へお申込下さい

(託児必要な方は
お申し出下さい)

担当者：豊原 寺尾聡子
和道 古西優子



おぢば通信 六月のうごき

◎六月帰参者 七十四名
(詰所調べ)

八月行事予定表

- 9日 婦人会例会
- 15日 布教実動日
- 19日 少年会例会
- 22～23日 さんさいの里(少)
- 24日 大教会月次祭
神名流し
- 26日 本部月次祭
おかえり講話

宇仁大教会130周年記念祭

練習予定日 8～9月

鳴り物 8月19日(土) 10時

9月 2日(土) 13時30分

おてふり 8月27日(日) 10時

9月30日(土) 13時30分



大教会百三十周年記念大会 記念おかえり講話

- 日時 八月 十六日(土)
十時～十分から
- 会場 宇仁大教会信者詰所
階大広間
- 講師 深谷太清
(やまとよふき分教会会長)

大教会百二十周年記念大会は、各教会のおつとめ奉仕者の増加・充実を願い、各教会よふぼくが大教会に参集しておつとめがつとめられます。おつとめをとめるに当たり、てをどりを身近に感じられる講話をしていただきます。

宇仁大教会 布教部

婦人会より

◇大教会炊事当番

8月 中河合

9月 豊原

10月 神福A

よろしく

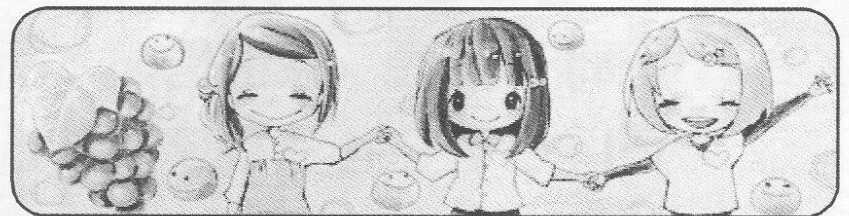
お願いします

宇仁女子青年

こかん様につづく会

11月26日(日)

おぢばにて開催させていただきます



訃報

来住分教会四代会長

藤原 静枝 氏

令和五年七月四日出直されました。(享年九十三歳)

昭和二十四年おさづけの理拝戴。平成五年四代会長に就任され、三十年間勤められました。

慎んで哀悼の意を表します。